

平成24年度総合計画実施計画事業(先導的事業)実施状況一覧表

No.	まちづくりの目標	分野	事業名	事業の概要	事業主体	当初予算額(千円)	決算額(千円)	H24年度実績及び参考事項	事業実施における問題・課題及び対応状況	担当部
1	1. 地域資源を生み育て賑わいと活力あふれるまちづくり	農林水産業	中山間地域等直接支払交付金事業	中山間地域等の農地の適切な維持管理のため、平場との生産条件格差に対する助成。	協定集落	1,217,849	1,208,291	H22年度から3期目の対策が開始。2期対策により活発化した集落の動きを一層充実させ、かつ高齢化が進んでいる集落も安心して取り組める自律的かつ継続的な農業生産活動等の体制整備に向けた前向きな取組等を推進している。 1. 補助率 国1/2 県1/4 市1/4 2. 実績(H24年度) (1) 交付対象農用地 82,193,346㎡ (2) 交付金額 1,208,291千円 (3) 協定数 303 (集落協定 299 個別協定 4)	第1期対策から現在の第3期対策まで14年が経過しており、協定内容の浸透は図られているものの、中山間事業の対象となる地域の担い手不足、高齢化が顕著となっている。 第4期対策としてこの事業が継続する場合は、複数の集落で1つの協定を運営する等の検討が必要と考えられる。	農林部
2	1. 地域資源を生み育て賑わいと活力あふれるまちづくり	農林水産業	地域づくり活動支援員設置事業	3年任期の、総務省制度「地域おこし協力隊」制度を活用し、中長期的な観点から地域活性化モデル地域の支援を行う。	市	3,404	2,074	H23年度に緑のふるさと協力隊として活動していた隊員を、引き続きH24年度からは、農村地域づくり活動支援員として、市内に居住していただき、一関地域のモデル地域を中心として支援活動を展開した。 また、H25年度採用に向けた募集活動を展開した。(全国合同募集会で一関市のブースを設置し、募集及びPR活動を展開した。)	H24年度から農村地域づくり支援員を設置し、支援活動を展開したが、諸事情により年度途中で退職となり、その後の補充も叶わなかった。 支援員は、モデル地域を中心とした支援活動を実施するが、11のモデル集落を1人で対応することは困難な状況から、25年度から2人の支援員を設置し支援体制をつくっている。	農林部
3	1. 地域資源を生み育て賑わいと活力あふれるまちづくり	農林水産業	青年新規就農倍増プロジェクト補助金	就農意欲を喚起するため、地域農業マスタープランに位置づけられている45歳未満の独立・自営農業者について、就農直後の所得を確保するため補助金を交付する。	農業者	30,000	3,750	青年の就農意欲の喚起と農業経営開始直後の所得の確保を目的とした「青年就農給付金」のうち、経営開始型給付金について、地域農業マスタープランに位置付けられた45歳未満の独立・自営農業者に対し給付した。 1. 給付単価(半期分ずつ申請・給付) (1) 個人・法人 1,500千円/年 (2) 夫婦 2,250千円/年 2. 給付期間 最長5年間 3. 給付経営体 4経営体(うち2経営体は夫婦) 4. 給付額 2経営体 × 半期分 750千円 = 1,500千円 2経営体(夫婦) × 半期分 1,125千円 = 2,250千円 計 3,750千円	給付要件を満たす環境づくりに努めた。 1. 人・農地プラン(地域農業マスタープラン)における中心経営体としての登録要件への対応 ・H25年度に集落単位での作成に加えて、区域単位のプランを市が準備したことにより登録し易くなり、給付要件を全市に適用させた。 2. 親元就農の場合の農地要件への対応 ・市内では後継による新規就農者が多いものの、制度設計が基盤の無い新規就農者を想定しているため、経営農地要件として農地の所有が基本となっていることから、贈与手続き等について相談に応じている。	農林部
4	1. 地域資源を生み育て賑わいと活力あふれるまちづくり	農林水産業	戸別所得補償経営安定推進事業	地域の中心となる経営体への農地集積を円滑に進めるため、集落を単位とする地域農業マスタープランを作成し、農地集積に協力する者に対し協力金を交付する。	市	85,440	24,500	集落・地域が作成し市が決定する「地域農業マスタープラン」の作成を推進し、プラン作成地区における経営転換する農業者、農業のリタイヤを対象として農地集積協力金を交付した。 1. 地域農業マスタープラン作成数 計14件 2. 農地集積協力金 (1) 経営転換協力金交付事業 ① 0.5ha以下 @300千円 × 2戸 = 600千円 ② 0.5ha超2.0ha以下 @500千円 × 31戸 = 15,500千円 ③ 2.0ha超 @700千円 × 12戸 = 8,400千円 (2) 分散錯圃解消協力金交付事業(連担化へ協力) @5,000円/10a 実績なし	経営転換協力金について、農業のリタイヤを希望する農業者は多いものの、ほ場条件が悪い農地が引き受ける農業者との調整に至らず、交付要件を満たさないケースが多い。	農林部
5	1. 地域資源を生み育て賑わいと活力あふれるまちづくり	農林水産業	一関のめぐみブランド化推進事業	一関産農産物のブランド化を推進するため、JAや生産組織等が実施する販売促進活動を支援する。	市	1,805	1,645	一関の「野菜・花き・肉用牛・米」等の農産物の需要拡大と有利販売の促進のため、JA及び生産団体等が実施する販売促進活動の支援などにより、消費者への宣伝活動に取り組んだ。 1. 市内JAの合同販売促進活動として首都圏で開催された、エコファーマー野菜フェア(都内4店舗で実施)等に対する支援を行った。 2. 消費地及び産地での市場等流通関係者との情報交換に参加し、産地からの情報提供を行った。 3. 地ビールフェスティバルにおいて、料理出店業者に「なす」「ピーマン」を提供し、来場者に果菜類の産地PRを行った。 4. 産地宣伝用の電飾看板広告をJR一関駅構内に設置した。 5. 産品リーフレット(野菜、花き)やレシビカード(なす、ピーマン)等々を作成し、店舗での販売促進や観光客へのPR活動等に活用した。	1. 両磐2JAの合併協議が進み、一関地方としての各品目の産地づくりの検討が進められており、来年3月の合併後に向けた、JAの合同販売フェア・共助会などの取り組みを継続的に支援し、一関市産品としての農産物のブランド化の機運を高めていく必要がある。 2. 農産物に限らず、一関で生産される加工食品、特産品と合わせた、一体的な売り込み&ブランド化を進めていくため、産品全体の「地産外商」活動との連携を太くしていく必要がある。 3. 新たなJA(仮称:JAいわて平泉)の名称を消費地で浸透させ、産地の知名度向上が合併後最初の課題と考えられる。	農林部

平成24年度総合計画実施計画事業(先導的事業)実施状況一覧表

No.	まちづくりの目標	分野	事業名	事業の概要	事業主体	当初予算額(千円)	決算額(千円)	H24年度実績及び参考事項	事業実施における問題・課題及び対応状況	担当部
6	1. 地域資源を生み育て賑わいと活力あふれるまちづくり	農林水産業	農地・水・環境保全向上対策事業負担金	県が行う農地・農業用施設等の改良及び長寿命化事業の負担金。	県	2,069	43,949	1. 共同活動支援 【H24年度実績】 共同活動支援 35組織 1,666.13ha  農地・農業用水等の資源について、水路の草刈り、泥上げ、農道の敷砂利補充などの「農地用水等の資源の日常の管理」と、水質保全、生態系保全などの「農村環境の向上に資する活動」を支援。(H24～28年度)  2 復旧活動支援 【H24年度実績】 復旧活動支援 82組織 3,293.88ha  東日本大震災の影響により、機能低下等の生じた水路の補修や機能向上及び長寿命化に取り組む集落を支援。(H23～25年度)向上活動支援に優先して支援。(負担率:国50%、県25%、市25%)  (事業費 175,795,420円)市負担額 43,948,855円	1. 1期対策では対象にならなかった中山間地域が、2期対策で対象となり、活動組織数も増加した。しかし、他県と比べ活動に対する制約が多く、対象となる活動が少ない。  2. 共同活動では、草刈や泥上げなどが対象外であり、単価についても通常の半分と少ない。  3. 事務量が多く複雑である。高齢化が進んでいるため地域でパソコンを使える人が少なく事務を執る人がいないため、新たに取り組みを始めることに不安があるため普及が進まない。  4. 事務費の定率化を認めてほしい。	農林部
7	1. 地域資源を生み育て賑わいと活力あふれるまちづくり	農林水産業	民有林間伐等事業補助金	森林の健全化及び公益的機能の促進を図るため、民有林整備に要する経費の一部を補助する。	所有者	17,000	7,270	適正な森林資源の造成及び森林の有する公益的機能の増進を図るため、森林組合等が実施した除間伐等の森林整備事業に対し助成した。  花泉 6.03 ha 83千円 大東 125.30 ha 3,818千円 千厩 48.71 ha 967千円 東山 7.65 ha 109千円 室根 33.39 ha 1,523千円 川崎 1.02 ha 14千円 藤沢 29.82 ha 756千円 計 251.92 ha 7,270千円	放射性物質の影響で、木材取引が低調で間伐が進まなかった。 また、いわての森林づくり県民税による、いわて環境の森整備事業(10割補助)での人工林強制間伐があるため実施が少なかった。	農林部
8	1. 地域資源を生み育て賑わいと活力あふれるまちづくり	工業・中小企業	一関市中小企業振興資金利子補給補助金	一関市中小企業振興資金貸付制度を利用した企業に対し、市が利子の一部を補助する。	市・企業等	13,500	5,528	【H24年度実績額】 ○利子補給補助金 52,606,911円(うち新規支払分5,527,568円)  ※H24年度までの実績 ○融資枠 5,210,000千円(市預託額521,000千円×10倍) ○融資件数及び残高 744件 3,240,530千円(利用率62.2%)うち新規融資件数及び残高 159件 956,360千円		商工労働部
9	1. 地域資源を生み育て賑わいと活力あふれるまちづくり	工業・中小企業	一関市中小企業振興資金保証料補給補助金	一関市中小企業振興資金貸付制度を利用した企業に対し、市が保証料の一部を補助する。	市・企業等	11,880	3,310	【H24決算額】 ○保証料補給補助金 16,704,063円(うち新規支払分3,310,076円)  ※H24年度までの実績 ○融資枠 5,210,000千円(市預託額521,000千円×10倍) ○融資件数及び残高 744件 3,240,530千円(利用率62.2%)うち新規融資件数及び残高 159件 956,360千円		商工労働部

平成24年度総合計画実施計画事業(先導的事業)実施状況一覧表

No.	まちづくりの目標	分野	事業名	事業の概要	事業主体	当初予算額(千円)	決算額(千円)	H24年度実績及び参考事項	事業実施における問題・課題及び対応状況	担当部
10	1. 地域資源を生み育て賑わいと活力あふれるまちづくり	工業・中小企業	技能・技術等資格取得支援事業	企業ニーズの高い技能・技術(品質管理検定、技能検定)の資格取得を支援する研修会を開催する。	市	299	335	1. 品質管理検定、支援講座 【H24年度実績】 震災等緊急雇用対応事業にて(財)岩手県南技術研究センターへ委託 検定受検者622名 (H23年度実績) 重点分野雇用創出事業にて(財)岩手県南技術研究センターへ委託 検定受検者471名 2. 普通旋盤 【H24年度実績】 (直営):受講者10名 (H22年度実績) (直営):受講者8名 (H23年度実績) 重点分野雇用創出事業にて一関高専へ委託 受講者7名 3. 情報収集事務 【H24年度実績】 震災等緊急雇用対応事業にて(財)岩手県南技術研究センターへ委託	なし	商工労働部
11	1. 地域資源を生み育て賑わいと活力あふれるまちづくり	工業・中小企業	企業の魅力発信力向上事業	企業の魅力の情報発信を促進するため、情報発信セミナーの開催や企業紹介パネル作成への一部補助などを行う。	市	2,777	2,207	1. 情報発信・IT活用セミナーの開催 【H24年度実績】H25年3月19日開催/15名参加 103千円 ※平成23年度新規事業(「企業の魅力発信力向上事業」により実施) 2. 取引支援促進事業費補助金 【H24年度実績】8回(7社)/1,475千円 ※平成22年度から実施(「取引支援促進事業費補助金」) 3. 企業PR/パネル製作費補助金 【H24年度実績】3回(3社)/129千円 ※平成24年度から実施(「企業ピーアールパネル等製作事業補助金」) 4. 地域企業情報ガイダンスの開催 【H24年度実績】H24年10月27日開催/47者出展、412名来場 500千円 ※平成20年度から実施(「地域企業情報ガイダンス開催事業」)	なし	商工労働部
12	1. 地域資源を生み育て賑わいと活力あふれるまちづくり	工業・中小企業	新製品・新技術開発事業費補助金	市内事業所が新製品・新技術の開発を県南技術研究センター等と共同で行う際の一部補助を行う。	市・企業等	1,000	444	【H24年度実績】1件 「プラスチック成形機から発生する排熱を利用する温度差発電の研究開発」三光化成機が(財)岩手県南技術研究センターと共同研究を実施 補助金額 444千円 ※H24年度に初めて公募形式を実施した。 ※H9年度～H24年度の実績 延べ20件 補助金合計8,119千円	なし	商工労働部
13	1. 地域資源を生み育て賑わいと活力あふれるまちづくり	工業・中小企業	企業立地促進奨励事業費補助金	市内に工場等を設置した企業の設備投資に対し、一部補助する。	市・企業等	128,200	94,272	【H24年度実績】94,272千円(2社) ※H18～23年度の実績 H18年度 59,176千円(4社)※増設 H19年度 68,388千円(2社) H20年度 39,698千円(1社) H21年度 0千円(0社) H22年度 17,186千円(1社) H23年度 674,192千円(3社)	なし	商工労働部
14	1. 地域資源を生み育て賑わいと活力あふれるまちづくり	工業・中小企業	立地企業操業支援事業費補助金	新規立地企業の操業にあたり、新規採用者に係る人材育成の経費と、社員研修費等に対して一部補助する。	企業等	4,000	2,370	【H24年度実績】 補助対象企業(2年目)1社+新規補助対象企業2社=2,370千円 (栗原産業(株)、柳田運輸(株)、(株)フジコー) ※H23年度実績 2社 (株)ワイザーエル、栗原産業(株) 1,105,000円	なし	商工労働部

平成24年度総合計画実施計画事業(先導的事業)実施状況一覧表

No.	まちづくりの目標	分野	事業名	事業の概要	事業主体	当初予算額(千円)	決算額(千円)	H24年度実績及び参考事項	事業実施における問題・課題及び対応状況	担当部
15	1. 地域資源を生み育て賑わいと活力あふれるまちづくり	工業・中小企業	岩手県南技術研究センター運営費補助金	企業に利用開放する分析機器の修繕費、県南技研の維持管理費に対して補助する。	財団法人	19,400	19,400	試験分析機器利用件数【H24年度実績】803件  主な利用企業(株)デジアイズ、(株)富士通ゼネラルエレクトロニクス、一関ヒロセ電機(株)、千住スプリングラー(株)、プランゼージャパン(株)、ウェーブロックホールディングス(株)、ジオマテック(株)、SWS東日本(株)、三光化成(株)、北上製紙(株)、NECネットワークプロダクツ(株)ほか  (H22年度実績) 789件 (H23年度実績) 834件	なし	商工労働部
16	1. 地域資源を生み育て賑わいと活力あふれるまちづくり	雇用・勤労者	新規高卒者ふるさと就職支援事業補助金	新規高卒者の地元就職と職場定着を図るため、新規高卒者を採用した雇用主に研修費用として20万円を助成する。	企業等	16,000	11,231	【H24年度実績】59社 11,230,684円  (H22年度実績) 47社 8,440,897円 (H23年度実績) 56社 10,040,464円  ※H22～24年度累計実績 29,712,045円	なし	商工労働部
17	1. 地域資源を生み育て賑わいと活力あふれるまちづくり	雇用・勤労者	地域企業パワーアップ支援事業	企業の人材育成手法の向上を目指し、若手社員の就業定着などを図るため、企業経営者、管理・監督者等を対象としたセミナーを開催する。	市	1,770	1,768	【H24年度実績】 ・クリティカル・シンキングセミナー 2回開催 受講者数 46名 (参考)(元気な地域づくり事業予算) ・若手社員コミュニケーション能力アップセミナー 1回開催 受講者数25名 ・新入社員社会人基礎力向上事業～市長と話そう!～ 1回開催 参加者30名  (H23年度実績) ・人材マネジメントスクール 2回開催 受講者数 35名 ・若手社員コミュニケーション能力アップ研修 1回開催 受講者数78名 (内事業所関係63名)	なし	商工労働部
18	1. 地域資源を生み育て賑わいと活力あふれるまちづくり	雇用・勤労者	キャリア教育支援事業	若者の人材育成、社会人基礎力の向上のため、キャリア教育に係る支援員を2名配置する。	市	5,099	4,158	H23から市が主体で実施。キャリア教育支援員2名配置。各種キャリア教育支援業務の実施。教育委員会が実施している「中学生の社会体験事業」への支援/ジョブシャドウイングの実施/キャリアアサポーターによる模擬面接指導等	なし	商工労働部
19	1. 地域資源を生み育て賑わいと活力あふれるまちづくり	商業	空き店舗入居支援事業補助金	市街地商店街の空き店舗へ新たに店舗を開設する際の店舗の内装工事費を補助する。	企業等	5,000	2,000	中心市街地の空き店舗への入居を促進するため、一関商工会議所が入居時の資金(内外装費)の一部補助に要した経費に対し助成した。  【H24年度実績】 2件 2,000千円	なし	商工労働部
20	1. 地域資源を生み育て賑わいと活力あふれるまちづくり	観光	一関市観光振興計画策定事業	一関市の観光施策の指針となる、一関市観光振興計画が平成23年度をもって計画終了となるため、平成24年度以降の計画策定を行う。	一関市	900	941	本市の観光・地域産業の振興に資するための指針として、「観光振興計画」を策定し、観光振興の推進を図った。  観光審議会委員報酬 9名 68千円 観光振興計画策定委員報酬 7名 116千円	なし	商工労働部
21	1. 地域資源を生み育て賑わいと活力あふれるまちづくり	観光	外国人に対する観光案内事業	世界遺産「平泉」の玄関口である一関駅の観光案内を強化するため、一関観光協会事務所内に外国語(英語、中国語)観光案内人を2名配置する。	市	4,199	4,199	外国語案内 H20年度からH23年度まで 英語 1名 H24年度から 英語 1名・中国語 1名  【H24年度実績】4,198,770円  (H20年度実績額) 2,084,703円 (H21年度実績額) 2,084,703円 (H22年度実績額) 2,099,385円 (H23年度実績額) 2,099,385円	なし	商工労働部

平成24年度総合計画実施計画事業(先導的事業)実施状況一覧表

No.	まちづくりの目標	分野	事業名	事業の概要	事業主体	当初予算額(千円)	決算額(千円)	H24年度実績及び参考事項	事業実施における問題・課題及び対応状況	担当部
22	1. 地域資源を生み育て賑わいと活力あふれるまちづくり	観光	一ノ関駅構内における観光案内事業	世界遺産「平泉」の玄関口である一ノ関駅の観光案内を強化するため、一ノ関駅構内に臨時観光案内所を設置し、観光案内人を1~2名配置する。	市	764	764	午前9時30分から午後15時30分まで 【H24年度実績】 開所日数 191日 従事延べ人数 191名×4000円=764,000円  (H20年度実績額) 684,000円 (H21年度実績額) 324,000円 (H22年度実績額) 324,000円 (H23年度実績額) 756,000円	なし	商工労働部
23	1. 地域資源を生み育て賑わいと活力あふれるまちづくり	観光	観光地間二次交通整備事業	周遊観光の促進を図るため、観光地間(狛鼻溪~平泉)のバスの運行補助、レンタカー利用者への地場産品のプレゼントを行う。	市	4,200	4,124	○狛鼻溪~平泉間バス乗車人員実績 【H24年度実績】 2,292人  H20年度(978人)、H21年度(1,740人)、H22年度(1,371人)、H23年度(1,303人)  ○巖美溪~本寺間バス乗車人員実績、レンタカー利用者実績 【H24年度実績】 52人  H20年度(60人)、H21年度(58人)、H22年度(177人)、H23年度(35人)	なし	商工労働部
24	1. 地域資源を生み育て賑わいと活力あふれるまちづくり	観光	滞在型観光振興事業	世界遺産「平泉」の玄関口として、中東北観光の起点となるよう、周辺地域と一体でのプロモーションの展開や着地型観光の促進を図る。	市	3,547	2,709	1. 個人体験型観光促進事業 456千円 体験型メニューの紹介、旅程の検討材料となる情報の発信 滞在型観光ホームページ「発見!!いちのせき」の運用  2. 「ゆっくりひとめぐり栗駒山麓連絡推進会議」事業 715千円 栗駒山を中心とした市村が、県境を越えて広域的に連携し、地域の活性化を図った。 参加市町村 一関市、宮城県栗原市、秋田県湯沢市、秋田県東成瀬村  3. 国道342号須川地区渋滞対策事業 643千円 紅葉期における国道342号の渋滞緩和を目的に岩手県及び関係団体と連携し、事前に混雑することを周知することで栗駒山へ観光客の分散化を図った。  4. 「イチ、ニの、サン」元気な東北発信事業 895千円 「イチ、ニの、サン」と数字の一、二、三の付く市町村と連携し、全国に元気を発信し、観光客の誘客を図った。 参加市町村 一関市、二戸市、青森県三沢市	なし	商工労働部
25	1. 地域資源を生み育て賑わいと活力あふれるまちづくり	一ノ関駅と中心市街地の戦略的活用	市街地活性化施設整備事業	旧ダイエー関店を市民活動の拠点施設として整備する。	市	773,220	817,802	H23年12月26日寄贈により取得した旧ダイエー関店を市街地活性化センター(なのはなプラザ)として活用するため、改修工事を行った。  1. 実施設計等委託料 8,400千円 2. 改修等工事費 (1) 旧ダイエー建物改修工事 84,000千円 (2) 市街地活性化施設改修工事 609,000千円 (3) 外壁等改修工事 93,939千円 (4) 総合案内設置等工事 6,090千円 (5) 機械警備機器等設置工事 2,933千円 3. 備品購入費 12,289千円		商工労働部
26	1. 地域資源を生み育て賑わいと活力あふれるまちづくり	一ノ関駅と中心市街地の戦略的活用	歴史の小道整備事業	市街地の回遊、散策、憩いの場として、中街を整備し、安全で安心な居住環境整備を図る。	市	2,100	2,981	・事業実施に係る地元懇談会 ・地下埋設物調査・埋設物管理者との協議 ・社会実験・意向調査の予備調査業務委託 1式 2,894千円 ・事務費 1式 87千円	なし	建設部
27	1. 地域資源を生み育て賑わいと活力あふれるまちづくり	一ノ関駅と中心市街地の戦略的活用	桜の小道整備事業(磐井町工区)	磐井川堤防嵩上げに伴い、道路の付け替えにより生じた残地の取得を含め、整備する。	市	43,580	36,255	磐井町工区 測量設計委託 1式 1,925千円 用地買収の基金分買戻し 1式 3,483千円 工事費(舗装工事、ポケットパーク) 1式 30,261千円 事務費 1式 586千円	なし	建設部

平成24年度総合計画実施計画事業(先導的事業)実施状況一覧表

No.	まちづくりの目標	分野	事業名	事業の概要	事業主体	当初予算額(千円)	決算額(千円)	H24年度実績及び参考事項	事業実施における問題・課題及び対応状況	担当部
28	2. みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり	地域福祉	高齢者及び障害者にやさしい住まいづくり推進事業	要介護等の高齢者が、在宅で生活するために必要な住宅の改修に対し補助する。	市	16,200	8,006	身体に障がいがある方や要介護高齢者等の在宅生活に必要な住宅の改修(居室及び浴室、トイレ等)に対し、その費用の一部を助成した。 【H24年度実績】 補助件数 14件 補助金額 8,006千円 ※H18~24年度累計実績 214件 108,223千円	県からの補助金が減少傾向にあるが、高齢者や障がい者が安心して生活するためには、今後も必要な制度である。	保健福祉部
29	2. みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり	子育て	乳幼児・小学生医療費助成事業	次世代育成支援の充実を図るため、乳幼児・小学生の医療費の自己負担分を助成する。	市	137,689	158,895	従来からの支給対象に加え、平成23年4月から市単独で小学生を対象とした助成を開始した。 (1) 乳幼児[就学前児童:市単独で所得制限を撤廃] 月平均対象者数 5,572人(うち市単分888人) 月平均件数 6,411件(うち市単分1,035件) 助成額 153,792千円(うち市単分55,270千円) (2) 小学生[小学校に就学中の児童:市単独事業、所得制限なし] 月平均対象者数 5,462人 月平均件数 3,961件 助成額 103,625千円	なし	市民環境部
30	2. みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり	子育て	第3子以降保育料補助金	第3子以降の保育料を無料(所得制限なし)とする。	市・法人	7,419	10,681	【H24年度軽減額実績】 611人 102,183,764円 (内訳) 認可保育園 535人 88,431,650円 へき地・児童館 25人 2,889,000円 こども園(幼稚園)3人182,000円 認可外保育所48人10,681,114円  (H21年度軽減額実績) 480人 82,129,769円 (内訳) 認可保育園 415人 70,710,500円 へき地・児童館 31人 3,527,000円 認可外保育所 34人 7,892,269円 (H22年度軽減額実績) 477人 84,319,766円 (内訳) 認可保育園 413人 74,946,000円 へき地・児童館 29人 3,392,500円 認可外保育所 35人 5,981,266円 (H23年度軽減額実績) 535人 87,832,466円 (内訳) 認可保育園 464人 76,923,250円 へき地・児童館 27人 3,055,500円 認可外保育所 44人 7,853,716円	なし	保健福祉部
31	2. みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり	子育て	私立幼稚園第3子以降保育料等補助金	第3子以降の保育料を無料(所得制限なし)とする。	市・法人	32,106	33,819	【H24年度実績】 私立(補助金):139人 33,818,600円 市立(減免):34人 6,960,000円 国庫補助額 3,461千円  (H21年度実績) 私立(補助金):121人 21,572,800円 市立(減免):89人 7,737,000円 (H22年度実績) 私立(補助金):131人 27,904,800円 市立(減免):72人 6,223,000円 (H23年度実績) 私立(補助金):127人 29,127,200円 市立(減免):68人 5,579,000円	・私立幼稚園への第3子以降幼児の入園者数の増減のより年度によって決算額が増減している。	教育部
32	2. みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり	子育て	おやこ広場事業	乳幼児とその親が気軽に集い、打ち解けた雰囲気の中で語り合い、交流する場を提供する。	市	3,938	3,938	乳幼児を持つ親子が気軽に集い、子育てに関する情報交換や交流を通しての仲間づくりを促進し、安心して子育てができる環境づくりに努めた。 (委託先:特定非営利法人いちのせき子育てネット) 【H24年度実績】 (1) 開設日 毎週月～金 (2) 開設時間 午前10時～午後4時 (3) 開催回数 257回 (4) 利用延べ人数 8,066人	なし	保健福祉部

平成24年度総合計画実施計画事業(先導的事業)実施状況一覧表

No.	まちづくりの目標	分野	事業名	事業の概要	事業主体	当初予算額(千円)	決算額(千円)	H24年度実績及び参考事項	事業実施における問題・課題及び対応状況	担当部
33	2. みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり	子育て	病後児保育事業	保育所に通所中の児童で、病気の回復期にある安静が必要な児童を、保護者の就労事情により一時的に保育し、子育てと就労を支援する。	市	1,254	1,106	【H24年度実績】 利用者数 のべ 7人(実利用人数2人)  (H21年度実績) 利用者数 のべ15人(実利用人数6人) (H22年度実績) 利用者数 のべ 2人(実利用人数2人) (H23年度実績) 利用者数 のべ18人(実利用人数7人)	看護師2名の確保	保健福祉部
34	2. みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり	防災(治水・治山を含む)	防災行政情報システム整備事業	防災行政無線(同報系)により災害時の情報及び行政情報を市内全域に一斉に伝達するシステムの整備を行う。	市	885,390	88,298	【H24年度実績】 市の新たな防災行政無線整備に向けて消防本部中継局局舎等建設工事等の工事に着手した。 (繰越明許費分) 一関市としての新たな防災行政無線整備に向けて実施設計を委託実施した。 (1) 消防防災用マイクロ波多重無線施設・防災行政情報システム施設整備工事 実施設計業務委託料 34,739千円  H21年度から実施した防災行政情報システム基本構想、基本設計に基づき、平成23年度から消防防災用マイクロ波多重無線施設・防災行政情報システム施設整備工事実施計画を作成。 無線ネットワークを構築する中継局設置ため、H24年12月から1件の造成工事、4件の鉄塔(新設35m・25m×各1基、改修2基)工事及び4件の局舎等(新設、改修各2箇所)を工事中であり、工期延期の変更工事及び工事監理委託を含め平成25年度繰越となり、H25年7月31日完了。 防災行政情報システムの整備工事を3年の継続費とし、H25年3月14日富士通ゼネラル・金澤電気特定共同企業体(JV)と契約。	なし	消防本部
35	2. みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり	防災(治水・治山を含む)	土砂災害ハザードマップ作成事業	土砂災害警戒区域等の情報伝達や警戒避難体制の整備、住民への周知と併せハザードマップを作成する。	市	3,400	3,008	災害に強い安全安心のまちづくりを進めるため、土砂災害警戒・特別警戒指定区域の情報や警戒避難体制を住民へ周知するハザードマップを作成した。  1. 土砂災害ハザードマップ作成事業費 (1) 土砂災害ハザードマップ作成業務委託料 27か所 1,132千円 大東地区22か所 東山地区5か所 (2) 土砂災害ハザードマップ看板設置業務委託料 27か所 952千円 大東地区22か所 東山地区5か所 (3) 土砂災害危険区域図データ入力更新業務委託料 1件 924千円	土砂災害ハザードマップは、地元住民、自主防災組織、所管の消防署及び消防団、消防本部防災課との共同作業で作成する事業で、今後も継続して行う。 対象住民の把握等非常時の具体的な行動の詳細が詰め切れていない状況にある。 県(砂防災害課)に対し、基礎調査が終了し地元説明会実施済みの箇所の土砂災害警戒等区域の指定について、早期に指定するよう働き掛けている。	建設部
36	2. みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり	防災(治水・治山を含む)	木造住宅耐震診断事業	住宅の所有者の求めに応じ、県が認定した岩手県耐震診断士を派遣し、耐震診断を行うことにより、耐震対策を支援する。	市	2,295	756	【H24年度実績】 耐震診断件数 28件 756千円  ※H24年度までの実績 523戸	周知不足等もあり実施件数が伸び悩んだ。 制度について引き続き広くPRしていく必要がある。	建設部
37	2. みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり	防災(治水・治山を含む)	木造住宅耐震改修工事助成事業	住宅の所有者が耐震改修工事を行う場合に、その経費の一部を補助し、耐震対策を支援する。	所有者	30,000	11,750	【H24年度実績】 耐震改修助成件数 16件 11,750千円  ※H24年度までの実績 85戸	周知不足等もあり実施件数が伸び悩んだ。 制度について引き続き広くPRしていく必要がある。	建設部
38	2. みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり	防災(治水・治山を含む)	避難所標識整備事業	災害時及び水害時の避難所を周知するため、避難所に標識を設置する。	市	2,432	2,100	【H24年度実績】 28か所 2,100千円	なし	消防本部
39	2. みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり	防災(治水・治山を含む)	自主防災組織育成事業	新たに結成した自主防災組織への防災資機材の配備、組織の育成を図るため講習会等の研修を実施する。	市	1,909	10,743	【H24年度実績】 1. 自主防災組織結成報奨金 18団体 350千円 2. 自主防災組織防災用資機材整備 30セット 992千円 3. 自治総合センターコミュニティ補助金 7団体 9,400千円	なし	消防本部
40	2. みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり	防災(治水・治山を含む)	自主防災組織活動助成金	自主防災組織に対し資機材購入の助成を行う。	市	61,500	58,323	【H24年度実績】 289団体 58,323千円  ※450行政区のうち403行政区に307団体の自主防災組織が結成されており、結成率は89.56%である。	なし	消防本部

平成24年度総合計画実施計画事業(先導的事業)実施状況一覧表

No.	まちづくりの目標	分野	事業名	事業の概要	事業主体	当初予算額(千円)	決算額(千円)	H24年度実績及び参考事項	事業実施における問題・課題及び対応状況	担当部
41	2. みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり	消防・救急・救助	消防防災拠点施設整備事業(消防庁舎)	本部庁舎の耐震補強等工事、北消防署及び東山分署改築工事を行う。	市	343,283	256,793	<p>【H24年度実績】</p> 北消防署建設(254,124,162円) 東山分署建設予定地測量設計等(2,243,850円) 本部庁舎耐震化に伴う測量等(424,883円)	なし	消防本部
42	2. みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり	消防・救急・救助	消防拠点施設整備事業(消防屯所)	消防資機材の保管、災害時の消防団の待機場所及び活動拠点となる消防屯所を整備する。	市	51,300	53,128	(1) 花泉地域 1棟 18,272千円 (2) 千厩地域 1棟 17,427千円 (3) 川崎地域 1棟 17,429千円	川崎地域の1-2屯所建設については、用地測量等に時間を要したため、旧屯所解体工事を平成25年度へ繰越した(平成25年9月完成予定)。	消防本部
43	2. みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり	消防・救急・救助	防火水槽整備事業	消防水利の充実のため防火水槽を整備する。	市	31,500	17,451	<p>【H24年度実績】</p> 一関地域1基、千厩地域1基、室根地域2基	当初、一関地域は4基の設置予定であったが、設置予定箇所が道路拡張予定箇所のため、用地取得に不測の日数を要したこと等により、翌年度に繰り越したとなったもの。	消防本部
44	2. みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり	消防・救急・救助	消火栓整備事業	消防水利の充実のため消火栓を整備する。	市	12,900	14,195	<p>【H24年度実績】</p> 一関地域24基(上水4基、簡水20基)、千厩地域簡易4基、東山地域簡水3基	なし	消防本部
45	2. みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり	防犯・交通安全・市民相談	交通安全施設整備事業	交通安全施設(防護柵、カーブミラー等)を整備する。	市	27,400	71,608	<p>【H24年度実績】</p> (現年度予算分) (1) 防護柵設置 5,961 m 48,619千円 (2) 反射鏡・標識等設置 47 基 8,046千円 (3) 区画線設置 9 路線 2,079千円 (4) その他交通安全施設 2 か所 994千円	複数の要望経路が存在し、重複するものが多数あり、整理等に多くの時間を要しながら対応している。	建設部
								(繰越明許費分) (1) 防護柵設置 253 m 3,809千円 (2) 反射鏡・標識等設置 8 基 960千円 (3) 区画線設置 43 路線 6,868千円 (4) その他交通安全施設 2 か所 233千円		

平成24年度総合計画実施計画事業(先導的事業)実施状況一覧表

No.	まちづくりの目標	分野	事業名	事業の概要	事業主体	当初予算額(千円)	決算額(千円)	H24年度実績及び参考事項	事業実施における問題・課題及び対応状況	担当部
46	2. みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり	医療	医師修学資金貸付事業	医師確保のため、将来医師として、市内の公的医療機関に勤務しようとする者に、修学資金を貸付する。	市	14,800	13,900	【H24年度実績】 修学生 2人(平成23年度 1人、平成24年度 1人)	なし	保健福祉部
47	2. みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり	医療	研修医研究支援事業	臨床研修病院の研修医受け入れ促進のため、研修医の研究会等への参加経費及び研究費用を補助する。	研修医	1,600	1,600	【H24年度実績】 医師会所属臨床研修医に対する補助 ①備品:パソコン及び電子図書用携帯端末等 1,584千円 ②事務用消耗品 16千円 計1,600千円  (H22年度実績) 医師会所属臨床研修医に対する補助 ①備品:電子図書用携帯端末 1,163千円 ②図書:医学用図書 323千円 ③事務経費 1千円 計1,487千円 (平成23年度実績) なし	なし	保健福祉部
48	2. みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり	医療	医療受診マナー・かかりつけ医普及啓発事業	医療受診マナーの啓発及びかかりつけ医のガイドマップを作成し、市内全世帯に配布する。	市	5,000	4,998	【H24年度実績】 「かかりつけ医ガイドブック」の発行 限りある地域の医療資源をみんなで支えるために、適正受診や救急医療の適正な利用、ガイドマップを掲載した「かかりつけ医ガイドブック」を発行した。	なし	保健福祉部
49	2. みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり	高齢者福祉	地域医療・介護連携推進事業	介護職員の医療に関する正しい知識の習得や医療と介護の密接な連携による「在宅ケア」の向上を図る。	市	5,039	4,737	【H24年度実績】 地域の医療資源を有効活用した医療と介護の連携体制の構築を推進するため、連携体制づくり等を促進するとともに、介護関係職員の医療的ケアに関する研修などの実施により、地域における医療と介護の連携を推進した。  1. 医療介護連携専門員の設置 1人 2. 一関市医療と介護の連携連絡会の開催 6回 3. 講演会の開催 1回 4. 研修会の開催 7回 5. 先進地視察の実施	なし	保健福祉部
50	2. みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり	健康づくり	自殺対策事業	平成21年度自殺者数が全国ワースト2となった現状を踏まえ、講演会の開催や相談専門員の配置など課題の共有と積極的な自殺予防対策を行う。	市	7,409	4,402	【H24年度実績】 県の自殺対策緊急強化事業基金を活用し、自殺予防に関する正しい知識の普及啓発やゲートキーパー研修会等を開催した。  1. 庁内関係課連絡会 2回 2. 普及啓発:市広報掲載、啓発用クリアファイルの全戸配布、イベント時のポケットティッシュ及びリーフレット等配布 3. 保健師による健康教育 11回 205人 4. 傾聴ボランティア育成講座の開催 3回 30人 5. ゲートキーパー研修会 9回 466人(対象:市職員、民生委員、理容組合員、高校生など) 6. 相談業務の充実 7. 臨床心理士による市民のこころの相談 56回 85人 8. 高齢者のうつスクリーニング 244人 9. 産後うつスクリーニング 810人	自殺防止対策強化期間に全戸配付したファイルとパンフレット作成料が入札により減となった。	保健福祉部
51	2. みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり	健康づくり	子宮頸がん予防ワクチン接種事業	中学校1年生の女子を対象とし、子宮頸がんワクチン接種を行う。	市	28,021	27,958	【H24年度実績】 対象者:中学1年生～高校2年生 対象者数:2,387人 接種者数:1,754人 接種率:73.5%  ※参考事項 子宮頸がん予防ワクチンは、任意の予防接種だが、国の「子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進事業」として実施(国の事業は平成24年度で終了。3ワクチンは法定化された。)	平成25年4月から予防接種法の改正により定期化された。費用についても他の予防接種と同じように交付税措置される。	保健福祉部

平成24年度総合計画実施計画事業(先導的事業)実施状況一覧表

No.	まちづくりの目標	分野	事業名	事業の概要	事業主体	当初予算額(千円)	決算額(千円)	H24年度実績及び参考事項	事業実施における問題・課題及び対応状況	担当部
52	2. みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり	健康づくり	妊婦一般健康診査事業	妊婦一般健康診査14回、子宮頸がん検診及び妊婦歯科健診1回に対し助成を行う。	市	82,735	65,546	【H24年度実績】 妊娠初期から出産に至るまで、妊婦が心身ともに良好な状態で過ごせるよう医学的管理と保健指導を行った。 健診回数:14回+子宮頸がん検診 対象者数:合計12,560人 受信者数:合計10,498人 受診率:平均83.6%	平成25年度から交付税措置される。	保健福祉部
53	2. みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり	健康づくり	一関保健センター移転整備事業	保健センター他、保健及び福祉関係の複合的な施設を建設する。	市	307,027	55,362	【H24年度実績】 一関保健センターの整備に係る基本設計委託、実施設計委託、不動産鑑定評価及び用地取得を行った。 (現年度予算分) 不動産鑑定評価 619千円 敷地地質調査業務委託 2,460千円 実施設計業務委託 8,892千円 旧県立一関高等看護学校跡地取得 37,660千円  (繰越明許費分) 基本設計業務委託 5,733千円	平成25年度へ繰越 旧県立磐井病院跡地取得 206,002千円  平成25年9月取得予定	保健福祉部
54	3. 人を育み文化を創造する生きがいのあるまちづくり	生涯学習	新永井公民館整備事業	現公民館(旧花泉南中学校)の耐震力不足と老朽化のため、新たに公民館を改築整備する。	市	48,770	36,660	【H24年度実績】 (1)永井公民館建設工事実施設計等業務委託 10,410千円 (2)永井公民館第2体育館他解体工事 26,250千円	なし	教育部
55	3. 人を育み文化を創造する生きがいのあるまちづくり	生涯学習	一関図書館整備事業	一関図書館を移転改築し、中央図書館機能を有する図書館を整備する。	市	830,369	253,679	【H24年度実績】 支出額:253,678,950円 ○新一関図書館整備計画委員会 2回開催、先進図書館視察 2館 ○新一関図書館工事監理委託/【継続費】契約額:56,700,000円(H24支出額:0円) ○新一関図書館建設工事中間検査申請等手数料/462,000円 ○新一関図書館建設(建築・電気・機械)工事(競技場解体工事含む)/【継続費】契約額:1,626,817,500円(H24支出額:243,789,000円) ○新一関図書館建設(昇降機設備)工事/【継続費】契約額:31,395,000円(H24支出額:0円) ○文化センター競技場内装建材等アスベスト含有調査等/424,200円 ○文化センター敷地内物件移転工事/6,368,250円 ○駐車場借上料/1,680,000円 ○新一関図書館太陽光発電設備設置工事実施設計業務 955,500円 (H22年度実績) ○新一関図書館基本構想及び基本計画策定、新一関図書館候補地決定 ○一関文化センターアスベスト含有調査/378,000円  (H23年度実績) ○新一関図書館基本設計業者選定(プロポーザル方式)及び基本設計業務委託(H22年度から繰越)/30,450,000円 ○新一関図書館実施設計業務委託/77,239,050円	継続事業となっており、平成24年度予算執行残額は、H25へ逐次繰越とした。	教育部
56	3. 人を育み文化を創造する生きがいのあるまちづくり	生涯学習	花泉図書館整備事業	花泉図書館を建設する。	市	507,800	188,902	【H24年度実績】 1. 工事費 159,050千円 (1)花泉図書館建設(建築)工事 109,200千円 (2)花泉図書館建設(電気設備)工事 21,850千円 (3)花泉図書館建設(機械設備)工事 28,000千円  2. 原材料費等 29,852千円 (1)建築資材用カラマツ、スギラミナ材、スギ二次部材等	木材の確保に時間を要したこと等により、工期の延長が必要となったことから、平成25年度へ繰越した。	教育部

平成24年度総合計画実施計画事業(先導的事業)実施状況一覧表

No.	まちづくりの目標	分野	事業名	事業の概要	事業主体	当初予算額(千円)	決算額(千円)	H24年度実績及び参考事項	事業実施における問題・課題及び対応状況	担当部
57	3. 人を育み文化を創造する生きがいのあるまちづくり	義務教育・高等学校教育・高等教育機関	教育立市プラン	教育立市を目指し、教育相談員、特別支援コーディネーター、学校サポーター、学習指導専門員、学びの支援員、適応支援相談員、読書普及員の配置や中学生の社会体験学習事業等を実施する。	市	151,845	143,901	<p>【H24年度実績】 学習指導専門員4人、教育相談員4人、読書普及員15人、学びの支援員4人、特別支援コーディネーター3人、学校サポーター29人、適応支援相談員4人、幼稚園きめ細かな指導支援員8人の配置ほか</p> <p>(H22年度実績) 学習指導専門員4人、教育相談員4人、ことばの力を育てる指導員3人、読書普及員7人、学びの支援員4人、特別支援コーディネーター2人、学校サポーター21人、適応支援相談員4人、幼稚園きめ細かな指導支援員7人の配置ほか</p> <p>(H23年度実績) 学習指導専門員4人、教育相談員4人、読書普及員12人、学びの支援員4人、特別支援コーディネーター3人、学校サポーター24人、適応支援相談員4人、幼稚園きめ細かな指導支援員7人の配置ほか</p>	1. 学校サポーター、幼稚園きめ細かな指導支援員について、学校、幼稚園から支援を必要とする児童生徒、園児対応のため増員を要望されている。 2. 職種によっては専門的な業務内容となることから、公募等での適任者の確保が困難となってきている。	教育部
58	3. 人を育み文化を創造する生きがいのあるまちづくり	義務教育・高等学校教育・高等教育機関	中学生最先端科学体験研修事業費	中学生を対象とし、科学技術に関する国の機関等が集積する筑波学園都市での体験的な研修を実施する。	市	1,677	1,571	<p>【H24年度実績】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>研修対象者 市内中学3年生 60人</li> <li>研修期間 平成24年8月6日(月)～8月8日(水)</li> <li>研修場所 独立行政法人宇宙航空研究開発機構 筑波宇宙センターJAXA 高エネルギー加速器研究機構 国土地理院 地図と測量の科学館</li> </ol>	1. H23年度から始まって2年目の事業として実施。 2. 最先端科学を体験できる体系化された研修として定着しており、H25年度も同様の視察先で実施した。 3. 特に課題はなく、今後も継続実施を予定している。	教育部
59	3. 人を育み文化を創造する生きがいのあるまちづくり	義務教育・高等学校教育・高等教育機関	地域学習冊子作成事業	学校を中心とした地域の誇りを作り出すため、各学校の自慢を児童生徒と地域住民が共同で発掘し、冊子にまとめ発行する。	市	2,051	1,859	<p>【H24年度実績】 第3集「わたしたちが受けつぐ地域の行事・伝統芸能」</p> <p>(H22・23年度実績) 第1集「学校のお宝紹介」 第2集「地域探検隊～発見！ 私たちのすばらしい地域～」</p> <p>冊子1,100部、ポスターを250枚発行し、学校、公民館等に配布。</p>	・H22年度から27年度までの事業6年事業として実施している。H28年度以降について検討を要する。	教育部
60	3. 人を育み文化を創造する生きがいのあるまちづくり	義務教育・高等学校教育・高等教育機関	山目小学校校舎改築事業	震災により甚大な被害を受けた校舎を改築する。	市	83,911	102,694	<p>【H24年度実績】 (現年度予算分)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>手数料 481千円 校舎建設に係る確認申請手数料及び適合判定手数料</li> <li>賃借料 525千円 仮設校舎賃借に伴う事務手数料</li> </ol> <p>(繰越明許費分) 山目小学校校舎改築にかかる設計等を行った。 (1) 校舎建設工事実施設計業務委託 98,700千円 (2) 校舎敷地地質調査業務委託 2,421千円 (3) 地形測量業務委託 567千円</p> <p>山目小学校校舎については、S47～50年に建築し、築後40年近く経過している建物である。 耐震調査の結果、耐震性能が低く補強が必要であることから耐震補強と大規模改修による整備を計画したが、東日本大震災により大規模な被害を受け、被害が広範囲に及んでいることから計画を見直し全面改築を行うこととし、H24年度においては実施設計を実施。</p>	なし	教育部

平成24年度総合計画実施計画事業(先導的事業)実施状況一覧表

No.	まちづくりの目標	分野	事業名	事業の概要	事業主体	当初予算額(千円)	決算額(千円)	H24年度実績及び参考事項	事業実施における問題・課題及び対応状況	担当部
61	3. 人を育み文化を創造する生きがいのあるまちづくり	義務教育・高等学校教育・高等教育機関	大東小学校整備事業	摺沢小、洪民小、曾慶小の3校を統合し新たに小学校を整備する。	市	972,425	934,881	<p>【H24年度実績】 H25年開校の大東小学校の校舎建設工事等を行った。 (現年度予算分)</p> <p>1. 委託料 44,245千円 (1) プール建設工事実施設計業務委託 15,225千円 (2) 校舎建設工事監理業務委託 14,490千円 (3) 屋内運動場建設工事監理業務委託 8,400千円 (4) 屋外環境整備実施設計業務委託 4,725千円 (5) その他委託料 6件 1,405千円</p> <p>2. 工事費 818,606千円 (1) 校舎建設(建築)工事 320,703千円 (2) 屋内運動場建設(建築)工事 204,750千円 (3) 校舎建設(機械設備)工事 111,532千円 (4) 校舎建設(電気設備)工事 94,790千円 (5) 屋内運動場建設(機械設備)工事 22,256千円 (6) 屋内運動場建設(電気設備)工事 20,476千円 (7) 防火水槽設置工事 9,375千円 (8) 屋内運動場建設(舞台照明・音響設備)工事 7,297千円 その他工事 21件 27,424千円</p> <p>3. 備品購入費 67,820千円 (1) スクールバス5台 55,492千円 (2) その他学校備品 12,328千円</p> <p>(通次繰越分)委託料 6,460千円 校舎建設工事監理業務委託 (通次繰越分)工事費 197,812千円 (1) 校舎建設(建築)工事 162,498千円 (2) 校舎建設(機械設備)工事 23,657千円 (3) 校舎建設(電気設備)工事 11,657千円</p>	H23～H24の継続事業である校舎建設工事については、東日本大震災の影響によりH23年度工事が遅れていたが、H24年度に遅れを取り戻し、当初契約通りに完成できた。 他に、屋内運動場建設、スクールバス購入等、計画通り実施でき、H25年4月の開校を迎えることができた。	教育部
62	3. 人を育み文化を創造する生きがいのあるまちづくり	義務教育・高等学校教育・高等教育機関	川崎地域小学校統合関連事業	薄衣小、門崎小の統合に向け、現在の薄衣小学校の校舎及び屋外環境の整備を行う。併せて、スクールバスを購入する。	市	59,500	62,245	<p>【H24年度実績】 平成25年開校の川崎小学校の校舎改修工事、駐車場整備等を行った。</p> <p>1. 委託料 2,161千円 (1) 駐車場整備等測量業務委託 674千円 (2) 駐車場修正設計業務委託 500千円 (3) 校舎内部塗装等改修工事実施設計業務委託 987千円</p> <p>2. 工事費 36,640千円 (1) 内装等改修工事 7,350千円 (2) 駐車場整備等工事 26,506千円 (3) キュービクル移設工事 2,784千円</p> <p>3. 公有財産購入費(駐車場等用地購入) 8,002千円</p> <p>4. 備品購入費 12,563千円 (1) スクールバス2台 12,159千円 (2) 校旗 404千円</p> <p>5. 補償費(駐車場整備に係る電柱等の移転工事補償) 690千円</p> <p>※参考 旧薄衣小学校耐震事業校舎、屋体実施 (H19年度実績) 耐震工事実施設計 2,969千円 (H20年度実績) 工事施工 77,136千円</p>	児童数の大幅な減少により、H25年4月1日に薄衣小学校と門崎小学校を統合し、薄衣小学校校舎を統合校舎とし、川崎小学校が開校となった。 H24年度は校舎の家具(児童用ロッカー、下駄箱)などの一部改修工事、駐車場整備、スクールバスの購入、校名看板等の変更を行ったが、川崎小学校校舎は、S46年に建築し、築41年が経過し、耐震工事は終了しているものの、廊下、教室の壁がいたる所で傷んでいる。 また、屋内体育館については、S47年に建築、築40年経過しており、ステージの上の壁が傷んでいるため、経年劣化による改修が必要な箇所が多くなっている。 このため、校舎内の廊下、教室等の壁、一部教室等の床や、家具類の改修が必要であることから、校舎内の壁の塗装、保健室、音楽室、トイレの床等の改修をH25年度に実施し、特別教室の家具の更新、廊下、図工室等の手洗い場の改修をH26年度に計画している。	教育部

平成24年度総合計画実施計画事業(先導的事業)実施状況一覧表

No.	まちづくりの目標	分野	事業名	事業の概要	事業主体	当初予算額(千円)	決算額(千円)	H24年度実績及び参考事項	事業実施における問題・課題及び対応状況	担当部
63	3. 人を育み文化を創造する生きがいのあるまちづくり	義務教育・高等学校教育・高等教育機関	東山中学校舎校耐震補強・大規模改造事業	校舎の耐震補強工事等を実施する。	市	330,000	68,405 (繰越明許費) 29,594	<p>【H24年度実績】 東山中学校校舎教室棟の改築に向けた診断、設計、仮設校舎賃貸借及び既存教室棟の解体工事等を実施した。 (現年度予算分) 1. 委託料 6,233千円 (1) 校舎耐震診断業務委託 4,620千円 (2) 仮設校舎設計業務委託 787千円 (3) プール解体工事設計業務委託 588千円 (4) その他業務 2件 238千円 2. 使用料及び賃借料 30,387千円 仮設校舎賃貸借(長期継続契約) 3. 工事費 31,469千円 (1) 普通教室棟(第1棟)解体工事 21,191千円 (2) プール解体工事 5,754千円 (3) その他工事 12件 4,524千円 (繰越明許費分) 1. 委託料 7,770千円 教室棟改築工事実施設計業務委託 2. 工事費 21,823千円 普通教室棟(第2棟)解体工事</p> <p>(～H22年度実績) 塔屋解体工事・実施設計費 17,121千円、耐力度調査業務 1,680千円 (H23年度実績) 校舎棟(教室棟)改築工事設計(H24へ繰越) 7,770千円、校舎棟(教室棟1棟)解体(H24へ繰越) 21,823千円</p>	東日本大震災により、当初計画していた「耐震補強・大規模改修事業」による部分補修ではなく、校舎棟全面改築(建て替え)に向け必要な調査業務を急遽実施し、関係機関と協議、検討した結果、全面改築のための国庫補助要件を満たさないことが判明したため、当初計画に戻す結果となった。 しかし、当初計画では仮設校舎を建設せず既存校舎(解体予定校舎)を最大限に活用した段階的な改修事業を計画していたが、震災により、早急な校舎解体が必要となったため、仮設校舎を建設し、安全安心な教育環境整備を図ることとなった。 新たな事業計画としては、H24年度に仮設校舎建設、普通教室棟(2棟)及びプール施設解体、H25年度普通教室棟改築(建築)、H26年度に仮設校舎の間取り改造、既存校舎棟(管理・特別教室棟)の耐震補強・大規模改造工事、H27年度に屋外(敷地外構)環境整備事業の実施を計画している。	教育部
64	3. 人を育み文化を創造する生きがいのあるまちづくり	義務教育・高等学校教育・高等教育機関	【市有財産活用推進事業】 藤沢中学校耐震化事業	中学校の屋内運動場の耐震診断を実施する。	市	3,436	2,413	<p>【H24年度実績】 市有財産活用推進事業を活用し、耐震診断を実施した。 (1) 手数料 242千円 藤沢中学校体育館耐震診断判定申請料 (2) 委託費 2,171千円 藤沢中学校屋内運動場耐震診断業務委託</p>	耐震診断の結果、Is値0.3であったため平成25年度に補強工事を実施することとなった。	教育部
65	3. 人を育み文化を創造する生きがいのあるまちづくり	義務教育・高等学校教育・高等教育機関	(仮称)千厩学校給食センター整備事業	千厩地域、室根地域及び藤沢地域の9小学校、3中学校を対象とした学校給食センターを整備する。	市	684,907	617,107	<p>【H24年度実績】 千厩、室根及び藤沢地域の小学校9校、中学校3校への給食を供給する施設の建設工事、備品購入等を行った。</p> <p>1. 委託料 9,233千円 (1) 建設工事監理業務委託 7,350千円 (2) 庁内ネットワーク接続調整等業務委託 431千円 (3) 車庫棟建設工事実施設計業務委託 945千円 (4) 車庫棟敷地支障木伐採作業委託 492千円 (5) 機械警備業務委託 15千円 2. 工事費 418,583千円 (1) 建設(建築)工事 157,500千円 (2) 建設(電気設備)工事 113,243千円 (3) 建設(機械設備)工事 135,240千円 (4) 車庫棟建設他工事 12,600千円 3. 備品購入費168,267千円 (1) 厨房用備品購入144,142千円 (2) 給食配送車購入23,468千円 (3) 事務用備品購入363千円 (4) 高圧温水洗車機購入294千円 4. その他21,024千円 (1) 厨房用等消耗品費20,531千円 (2) 自賠責保険料257千円 (3) 建築確認申請等手数料161千円 (4) 自動車重量税等75千円</p>	車庫棟については、隣接する法面の崩落防止工事を行うことから、平成25年度に整備する(繰越)。⇒平成25年7月完成。	教育部

平成24年度総合計画実施計画事業(先導的事業)実施状況一覧表

No.	まちづくりの目標	分野	事業名	事業の概要	事業主体	当初予算額(千円)	決算額(千円)	H24年度実績及び参考事項	事業実施における問題・課題及び対応状況	担当部
66	3. 人を育み文化を創造する生きがいのあるまちづくり	青少年の健全育成	JFAこころのプロジェクト「夢の教室」事業	児童の健全育成を図るため、スポーツ選手を小学校に夢先生として招聘し、夢を持つことの大切さ等を伝える授業を行う。	市	765	730	H22年度から実施 1回3教室×3回 年間9教室開催 実施校: 一関地域:舞川小・中里小 花泉地域:永井小・涌津小・油島小・金沢小 大東地域:田河津小・曾慶小・大原小 千厩地域:千厩小・清田小 東山地域:長坂小・松川小 室根地域:室根東小・室根西小、 川崎地域:門崎小・薄衣小 以上 17校で実施 夢せんせい: 千葉真子(マラソン日本代表)、川上直子(元なでしこジャパン)、式田高義(元Jリーグ)、金子勇樹(元Jリーグ)、前田治(元サッカー)、森山達行(元Jリーグ)、福永泰(元Jリーグ)、遠藤彰弘(元サッカー日本代表)、水沼貴志(元サッカー日本代表)	4年目を迎え、導入希望校が増加。H25年は14教室の希望があったが、9教室に絞り実施した。	教育部
67	3. 人を育み文化を創造する生きがいのあるまちづくり	文化・芸術・スポーツ・レクリエーション	総合型地域スポーツクラブ育成事業	総合型地域スポーツクラブの設立及び育成を支援する。	地域スポーツクラブ	453	0	対象団体なし	1. 現在総合型地域スポーツクラブは2団体(ファンズホルト一関、藤沢町体育協会)が組織されている。 2. 一関市内には、地区体育協会が組織化されており、また、既存スポ少、競技団体等との連携が進まない中、総合型地域スポーツクラブの設立に向けた具体的な動きは見えない状況にあります。 3. 総合型地域スポーツクラブは、会費による自主自立の団体が基本であるものの、全国的にはtoto助成や市等の補助金。または、ボランティアにより運営されてる。クラブ組織の安定した運営をするためには、指定管理制度の活用が必要と思われる。	教育部
68	3. 人を育み文化を創造する生きがいのあるまちづくり	文化・芸術・スポーツ・レクリエーション	国民体育大会選手強化指導者育成助成事業	選手強化、指導者育成の取り組みを支援。	市	1,088	1,301	一関市体育協会が加盟協会を対象に実施している選手強化・指導者育成事業に対し助成(1/2補助) H24: 1,301,719円 ※H23: 1,053,500円	H28年の国体開催に向けて、各競技団体が独自の強化策を実施している。 H23 選手強化 :4競技団体、6事業 指導者育成:3競技団体、3事業 H24 選手強化 :6競技団体、6事業 指導者育成 :4競技団体、4事業	教育部
69	3. 人を育み文化を創造する生きがいのあるまちづくり	文化・芸術・スポーツ・レクリエーション	スポーツ合宿招聘事業	高等教育機関のスポーツ部の合宿を招聘するため、交通費を助成する。	市	1,600	964	【H24年度実績】 ・市立松戸高等学校男子バスケットボール部(千葉県) 23名(延べ宿泊数184泊) ・市立松戸高等学校女子バスケットボール部 18人(延べ宿泊数198泊) ・流通経済大学付属柏高等学校陸上部 30人(延べ宿泊数120泊)	1. 招聘を希望する競技種目(H28国体種目であるバスケットボール、バレーボール、フェンシング)のインカレ上位大学に補助制度を周知した。 2. 今後は、加えて市内競技団体等を通して、競技力の高い学校の招聘について模索する。	教育部
70	3. 人を育み文化を創造する生きがいのあるまちづくり	文化財の保護・地域文化の伝承	郷土芸能活動事業費補助金事業	郷土芸能活動を支援するための補助金を交付する。	団体	2,000	634	【H24年度実績】 6団体に634千円支出。 (内訳) ①岩手県南宮城県北神楽大会(厳美大会)50千円 ②岩手県南宮城県北選抜神楽花泉大会145千円 ③行山流鹿踊交流会361千円 ④岩ノ下獅子舞保存会19千円 ⑤行山流大木鹿踊り保存会19千円 ⑥白浜神楽会40千円 (①～⑤は特定継続事業)  (H23年度実績) 5団体に1,081千円支出。 (内訳) ①行山流鹿踊交流会510千円 ②岩ノ下獅子舞保存会19千円 ③行山流大木鹿踊り保存会19千円 ④東山神楽保存会37千円 ⑤下大籠南部神楽保存会496千円 (①～④は特定継続事業。震災により、2事業中止。)	【事業実施における問題・課題】 1. 後継者不足により、地域で郷土芸能活動を行うことが困難になってきている。 2. 財団等が実施する類似補助制度が複数あり、団体の意向を確認しながら助成制度を案内している。(H24年度中に他事業申請した団体は4団体あり。)  【対応状況】 1. 引き続き、団体の意向を確認しながら、他助成制度も含め案内を行う。 2. 団体の状況把握調査を行い、重要なものについては、保存、保護のため文化財指定を進め、活動の支援を行う。	教育部

平成24年度総合計画実施計画事業(先導的事業)実施状況一覧表

No.	まちづくりの目標	分野	事業名	事業の概要	事業主体	当初予算額(千円)	決算額(千円)	H24年度実績及び参考事項	事業実施における問題・課題及び対応状況	担当部
71	3. 人を育み文化を創造する生きがいのあるまちづくり	文化財の保護・地域文化の伝承	古文書等資料調査	古文書等の歴史資料、美術品のデータベースの構築を図る。	市	4,621	4,646	【H24年度実績】 1. 古文書既調査資料の目録化、未整理資料の整理を行った。 (1) 仙台藩東山南方大肝入白石家文書(一関市千厩町) (2) 八木家文書(一関市花泉町) (3) 須藤家文書(一関市磐井町) 2. 美術資料の調査とカード化、関連情報の収集・集積を行った。 (1) 佐藤紫煙関係資料のデータ入力準備 (2) 一関ゆかりの美術・工芸家についての調査 長沼守敬、白石隆一、佐藤醇吉、伊藤國男等の文献調査と情報集積、データ化	なし	教育部
72	3. 人を育み文化を創造する生きがいのあるまちづくり	平泉文化関連資産「骨寺村荘園遺跡」の保護	骨寺村荘園地区整備事業	骨寺村荘園遺跡来訪者のためのガイド施設(骨寺村荘園交流館)の整備を行う。	市	95,817	93,784	【H24年度実績】 「骨寺村荘園遺跡整備活用基本計画」に基づき、交流館展示棟展示工事などを行い、交流館展示棟の整備が完了した。(展示棟H25年4月6日オープン) 交流館展示棟展示工事 89,291千円 交流館展示棟展示追加工事 713千円 交流館建物周り舗装等工事 1,873千円	なし	商工労働部
73	3. 人を育み文化を創造する生きがいのあるまちづくり	平泉文化関連資産「骨寺村荘園遺跡」の保護	骨寺村荘園遺跡活用事業	骨寺村荘園交流施設(骨寺村荘園交流館・骨寺村荘園休憩所・骨寺村荘園広場)の指定管理、骨寺村荘園遺跡のPRに関する事業を行う。	市	2,493	3,520	【H24年度実績】 地元組織である骨寺村ガイド運営協議会へ骨寺村荘園交流施設(交流館、休憩所、広場)の指定管理委託を行い、交流施設を拠点に来訪者の受け入れとPR事業を行った。 1. 骨寺村荘園遺跡パンフレット(散策マップ・中世の風景)の作成 830千円 2. 景観保全農地整備事業世界遺産枠負担金 2,690千円	骨寺村荘園遺跡と重要文化的景観に選定されている農村景観を保護・活用していくためには、地域住民が主体的に景観保護に取り組むとともに、農産物販売や郷土料理の提供などを通して地域営農を継続させていく必要がある。 また、H23年8月1日から地元組織を指定管理者として指定管理委託を行っているが、より安定した経営基盤とするため組織の育成強化を図っていく必要がある。	商工労働部
74	3. 人を育み文化を創造する生きがいのあるまちづくり	平泉文化関連資産「骨寺村荘園遺跡」の保護	骨寺村荘園遺跡確認調査事業	平泉から骨寺までのルート調査、骨寺村荘園の実態調査、骨寺堂跡の確認調査、諸施設の地下痕跡の確認調査を実施する。	市	10,000	10,000	【H24年度実績】 1. 骨寺村荘園遺跡発掘調査事業 (1) 骨寺村荘園関連遺跡確認調査事業(不動窟・白山社及び駒形根神社・伝ミタケ堂跡・梅木田遺跡) (2) 骨寺村荘園遺跡確認調査報告書の刊行(300部) (3) 骨寺村荘園遺跡調査概要リーフレットの刊行(5,000部) (4) 骨寺村荘園遺跡調査報告会の開催 1回(参加者約70名)	なし	教育部
75	3. 人を育み文化を創造する生きがいのあるまちづくり	平泉文化関連資産「骨寺村荘園遺跡」の保護	文化的景観保護推進事業(重要建物修理修景事業)	本寺地区にある重要文化的景観を構成する重要建物の修理・修景を支援する。	市	15,000	2,354	【H24年度実績】 設計 2棟 工事 1棟 (H19~24年度実績) 設計45棟3,619千円、工事38棟(平成22年度監理18棟含む)47,237千円 (工事実績内訳) H19年度3棟、H20年度12棟、H21年度5棟、H22年度12棟、H23年度5棟、H24年度1棟	なし	教育部
76	4. 人と情報が活発に行き交うふれあいと連携のまちづくり	都市間交流・国際交流	国際交流推進事業	市民による国際交流活動を支援するため、国際交流団体に対し補助する。	市・団体等	1,693	1,214	【H24年度実績】 市民の国際理解と多文化共生の促進を図るため、各地域の国際交流団体の活動に対して補助を行った。  国際交流補助金 一関国際交流協会 300千円 ゆうの会 80千円 花のまち交流協会 174千円 千厩町国際友好協会 200千円 東山国際交流協会 42千円 むろね国際交流クラブ 165千円 川崎21世紀国際交流クラブ 180千円 藤沢町国際交流協会 73千円	なし	市民環境部

平成24年度総合計画実施計画事業(先導的事業)実施状況一覧表

No.	まちづくりの目標	分野	事業名	事業の概要	事業主体	当初予算額(千円)	決算額(千円)	H24年度実績及び参考事項	事業実施における問題・課題及び対応状況	担当部
77	4. 人と情報が活発に行き交うふれあいと連携のまちづくり	道路	市道矢ノ目沢金沢線・清水原一関線道路改良事業	市道矢ノ目沢金沢線及び市道清水原一関線を改良整備する。	市	400,000	(現年度) 309,608 (繰越明許費) 201,727	【H24年度実績】 (清水原一関線ほか) 1. 測量等委託料 4件 789千円 2. 道路改良等工事費 6件 280,597千円 (1) 道路改良(第3工区)工事 147,861千円 L= 510.0m 工期 平成24年7月9日～平成25年3月25日 (2) 道路改良(第5工区)工事 131,301千円 L= 360.0m 工期 平成24年8月7日～平成25年3月22日 (3) その他道路改良工事 4件 1,435千円 3. 用地等購入費 23件 19,743千円 4. 物件移転等補償費 20件 7,074千円 (繰越明許費分) 1. 測量等委託料 4件 844千円 2. 道路改良等工事費 5件 192,468千円 (1) 道路改良(第2工区)工事 129,321千円 L= 409.0m 工期 平成24年4月9日～平成24年12月27日 (2) 道路改良(第4工区)工事 61,493千円 L= 26.7m 工期 平成24年8月6日～平成25年3月1日 (3) その他道路改良等工事費 3件 1,654千円 3. 用地等購入費 3件 2,521千円 4. 物件移転等補償費 8件 5,894千円	(課題) 平成23年度からの繰越明許は用地補償交渉に不測の時間を要したため繰り越したものの。 (対応状況) 国道342号交差点部を除き用地買収は完了した。  (課題) 掘削土の土質が悪く、盛土材に流用するための土質改良が必要である。工事費が増大している。 (対応状況) セメント安定処理、購入土利用等にて対応している。事業費について精査する。  (課題) 震災復興・経済対策によりダンプ等の重機不足、作業員不足が懸念される。 (対応状況) 仕事量の平準化を図るため早期発注や繰越発注などにより調整をする。	建設部
78	4. 人と情報が活発に行き交うふれあいと連携のまちづくり	道路	市道中駒場線道路改良事業	市道広域千厩線から千厩中学校を經由し県立千厩病院を結ぶ基幹道路を整備する。	市	20,000	5,310	【H24年度実績】 1. 道路測量設計業務委託 5,310千円(H25年度へ繰越14,691千円) 2. 用地・補償調査業務委託、用地買収・補償、道路工事 (H25年度へ繰越)	なし	建設部
79	4. 人と情報が活発に行き交うふれあいと連携のまちづくり	道路	松川駅館下線道路改良事業	松川地区の県道東山薄衣線のバイパスを整備する。	市	180,000	(現年度) 0 (繰越明許費) 18,336	【H24年度実績】 (繰越明許費分) 1. 測量等委託料 3件 12,938千円 2. 用地購入費 5件 2,694千円 3. 物件移転等補償費 1件 2,723千円	(課題) H23年度からの繰越明許は東日本大震災の影響により、用地補償交渉に不測の時間を要したため繰り越したものの。 事業に支障となる用地の筆界未定、用地・建物の相続の解決に至らなかったため、平成24年度の事業費は平成25年度へ全額繰越になった。 (対応状況) 終点付近の相続が難しい地権者を除き用地及び建物移転補償の契約を行い、用地補償交渉を進めた。 引き続き、未相続の地権者に対し用地交渉を続けている。 工事については終点付近を除きH25年4月入札とした。	建設部
80	4. 人と情報が活発に行き交うふれあいと連携のまちづくり	道路	都市計画道路山目駅前釣山線(竹山工区)道路改良事業	岩手県が実施する山目駅前釣山線(竹山工区)道路整備事業に対して事業費の一部を負担する。	県	266,321	174,497	(県受託事業) 【H24年度実績】 (1) 用地購入費 1件 34.11㎡ 1,675千円 (2) 物件移転補償費 6件 119,078千円 (3) 道路改良県事業負担金 9,091千円 (4) 事務費 1,939千円 (繰越明許費分) (1) 用地購入費 6件 200.75㎡ 9,618千円 (2) 物件移転補償費 11件 32,496千円 (3) 事務費 600千円  (H20～24年度実績) H20年度 用地測量・建物等調査積算、県事業負担金 H21年度 用地取得10筆、建物移転補償11件、県事業負担金 H22年度 用地取得19筆、建物移転補償26件、県事業負担金 H23年度 用地取得16筆、建物移転補償20件、県事業負担金 H24年度 用地取得 6筆、建物移転補償 6件、県事業負担金	なし	建設部

平成24年度総合計画実施計画事業(先導的事業)実施状況一覧表

No.	まちづくりの目標	分野	事業名	事業の概要	事業主体	当初予算額(千円)	決算額(千円)	H24年度実績及び参考事項	事業実施における問題・課題及び対応状況	担当部
81	4. 人と情報が活発に行き交うふれあいと連携のまちづくり	公共交通	市内JR駅前トイレ整備事業	駅利用者や地元住民の利便性向上のため、トイレのない市内JR駅にトイレを整備する。	市	30,684	32,983	【H24年度実績】 真滝駅・折壁駅トイレ2棟工事費 29,819千円 清水原駅トイレの水洗化工事費 3,165千円	なし	市民環境部
82	4. 人と情報が活発に行き交うふれあいと連携のまちづくり	地域情報化	コミュニティFM情報配信事業	コミュニティFM放送局を設立し、地域情報を配信するとともに、緊急告知ラジオを各世帯に配布し災害防災情報を配信する。	市	238,876	144,979	【H24年度実績】 一関コミュニティFM放送が、市内全世帯で受信可能となるよう新たな中継局を整備するとともに、FMあすも専用ラジオの配布や、市政情報等番組の放送により、情報の発信体制の確立に努めた。 (現年度予算分) 1. コミュニティFM放送環境整備事業 128,842千円 (1) 中継局整備調査設計委託 14,697千円 (2) 中継局整備工事(新設2局、調整3局) 100,422千円 (3) 緊急割込装置設置工事 12,453千円 (4) サテライトスタジオテレビユニット設置工事 110千円 (5) 外部アンテナ設置工事(11件) 256千円 (6) 施設管理等経費 904千円 2. FMあすも専用ラジオ配布事業 2,619千円 (1) チラシ等印刷 730千円 (2) FMあすも専用ラジオ等配送料 1,889千円 3. 行政情報等番組放送事業 13,518千円 (繰越明許費) FMあすも専用ラジオ配布事業 (1) FMあすも専用ラジオ配送委託 8,396千円	①(H25.7.31)現在、難聴調査対象世帯が約1,200世帯あることから、当該世帯に対する調査を実施し、年度内に難聴世帯の解消を図る。 ②市民のコミュニティFMの聴取状況が不明な事から、来年度、市内全世帯を対象とした聴取状況調査を実施し、更なるコミュニティFMの充実を図る。 ③災害時におけるコミュニティFMの活用について、FMあすもとの間で災害協定などを締結し、役割を明確にして対応する必要がある。	企画振興部
83	4. 人と情報が活発に行き交うふれあいと連携のまちづくり	地域づくり活動	市民協働推進事業	協働のまちづくりを進めるため、地域課題解決や地域づくり、組織づくりを行う団体等を支援する。	市	149,195	123,833	【H24年度実績】 1. 地域おこし事業 人材おこしや産業おこしなどで活力ある地域づくりを推進するため、地域や民間が取り組む先導的な事業に対して補助を行った。 (1) 地域おこし一般事業 21事業 13,308千円 (2) 女性が主役の地域おこし事業 6事業 2,106千円 (3) 若者が主役の地域おこし事業 2事業 630千円 2. 自治会等活動費総合補助金事業 地域活動の拠点となる集会施設の整備や住民が主体的に行う地域づくりを目的とした事業に対し、事業実施に必要な経費の一部を補助した。 (1) 一般活動 418事業 49,189千円 (2) 施設整備 61事業 31,225千円 (改築3件、改修57件、太陽光1件) 3. 地域協働体支援事業 地域住民が主体となる地域協働体が行う事業に対し、事業実施に必要な経費の一部を補助した。 (1) 地域協働体支援事業補助金 2団体 183千円 4. 市民活動推進事業 NPO・自治会等の市民活動団体の活動を活性化させ、市民主体の地域づくりを進めるため、特定非営利活動法人レスパイトハウス・ハンズに市民活動推進事業を委託した。 名称 いちのせき市民活動センター 場所 新鮮館おおまち(なのはなプラザ1階) 事業 ①市民活動に関する相談業務②市民活動に関する情報発信・収集業務③市民活動の活動拠点の提供④他団体との連携 5. 市民協働支援事業 協働推進会議の開催や事業実践団体などの発表会を行った。 (1) 協働推進会議の開催(1回)3月19日(火)20人 (2) 地域おこし事業並びに元気な地域づくり事業実践発表会 78人	なし	市民環境部

平成24年度総合計画実施計画事業(先導的事業)実施状況一覧表

No.	まちづくりの目標	分野	事業名	事業の概要	事業主体	当初予算額(千円)	決算額(千円)	H24年度実績及び参考事項	事業実施における問題・課題及び対応状況	担当部
84	4. 人と情報が活発に行き交うふれあいと連携のまちづくり	地域づくり活動	いちのせき元気な地域づくり事業	地域住民と行政との創意工夫により、各地域で特色ある地域づくりのための事業を行う。	市	95,500	69,960	【H24年度実績】 総事業数 109事業 69,960千円 (内訳) 一関地域 10事業 8,295千円 花泉地域 12事業 9,322千円 大東地域 12事業 8,784千円 千厩地域 10事業 10,363千円 東山地域 20事業 8,575千円 室根地域 17事業 10,172千円 川崎地域 18事業 8,082千円 藤沢地域 10事業 5,419千円 (広域事業 4事業 2,058千円) ※広域事業は総事業数等に含まず。 懇談組織研修等 948千円	なし	市民環境部
85	5. 水と緑を守り育み自然と共生するまちづくり	自然環境	環境教育事業(エコ友チャレンジ事業)	子どもと保護者が一緒に環境家計簿の一つである「暮らしのエコチャレンジ」に取り組む。	市	150	201	【H24年度実績】 市内小学校4校で151人が実施 萩荘小学校4年生 68人 永井小学校4年生 23人 松川小学校4年生 16人 藤沢小学校4年生 44人  子どもたちが日常生活を通じて、環境にやさしいライフスタイルを身につけていくことを目指して実施した。家庭では、子どもたちが中心となり、積極的に節電や節水などに取り組むようになっている。	実施時期を検討する必要がある。(長期休暇に合わせる等)	市民環境部
86	5. 水と緑を守り育み自然と共生するまちづくり	森林	森林整備地域活動支援交付金	適切な森林整備の推進を図るため、市長と森林整備地域活動実施協定を締結した森林所有者等に交付金を交付する。	所有者	9,375	7,500	【H24年度実績】 森林の有する多面的機能が十分に発揮されるよう適切な森林整備の推進を図るため、市長と森林整備地域活動実施協定を締結した森林所有者に対し、交付金を交付した。 交付対象者 一関地方森林組合(共同施業型) 130.01 ha 1,040千円 東磐井地方森林組合(経営委託型) 170.00 ha 6,460千円 合計 300.01 ha 7,500千円  (H18~23年度実績) H18年度 78,931,700円 H19年度 29,117,600円 H20年度 29,267,250円 H21年度 47,328,950円 H22年度 42,669,850円 H23年度 3,946,895円	事業実施の内容に変更があり、これまで森林所有者等に対し、境界の確認や山道の整備管理を対象に支援交付金を支出してきたが、平成24年度からは、民有林の森林経営計画策定に係る費用として支出することとなった。 森林整備事業補助金にあつては、森林経営計画の策定がなければ、基本的にこれまで同様の補助金を受けることができない。 終局的には、市内の全山林が森林経営計画策定森林となることが望ましいが、計画策定にあたっては森林所有者の同意が必要であり、県内でも森林経営計画が策定された森林は僅かなものとなっている。 市では、いかに多くの民有林の森林経営計画策定が進むかが高率補助の要件となるため、今後も当該事業を活用しながら策定支援をし、より多くの民有林に対し高額補助の対象森林となるよう早期に対応しなければならない。	農林部

平成24年度総合計画実施計画事業(先導的事業)実施状況一覧表

No.	まちづくりの目標	分野	事業名	事業の概要	事業主体	当初予算額(千円)	決算額(千円)	H24年度実績及び参考事項	事業実施における問題・課題及び対応状況	担当部
87	5. 水と緑を守り育み自然と共生するまちづくり	森林	温室効果ガス排出削減事業(J-VER制度)	本市の森林における二酸化炭素吸収量を算定し、気候変動対策認証センターの認証を受け、販売する。	市	2,000	0	<p>◆ 取り組みの経過</p> <p>平成24年5月10日 J-VER制度を活用した復興支援に係るプロジェクト創出支援事業応募(妥当性確認支援「上限100万円」、モニタリング支援「上限100万円」、第三者検証支援「上限100万円」)</p> <p>平成24年5月28日 同上の応募に対し採択通知</p> <p>平成24年8月23日 オフセット・クレジットプロジェクト計画開始届</p> <p>平成24年8月23日 オフセット・クレジットプロジェクト制度に基づく温暖効果ガス吸収プロジェクト計画書別紙モニタリング計画書提出(妥当性確認機関へ)</p> <p>平成24年8月30～31日 温室効果ガス排出量 審査検証(書類審査、対象森林の現地確認)</p> <p>平成24年12月7日 オフセット・クレジットプロジェクト制度妥当性確認報告書の提出(気象変動対策認証センターへ)</p> <p>平成24年12月7日 オフセット・クレジットプロジェクト登録依頼</p> <p>平成24年12月7日 オフセット・クレジットプロジェクト制度に基づく温暖効果ガス吸収プロジェクト計画書提出(気象変動対策認証センターへ)</p> <p>平成24年12月21日 第44回J-VER認証委員会において登録が決定。</p> <p>平成25年1月18日 モニタリング検証機関決定。</p> <p>平成25年2月9日 モニタリング現地調査(書類審査、対象森林の現地確認)</p> <p>平成25年2月25日 温暖効果ガス吸収プロジェクトモニタリング報告書提出(気象変動対策認証センターへ)</p> <p>平成25年2月26日 検証機関から検証報告書提出(気象変動対策認証センターへ)</p> <p>平成25年2月28日 温室効果ガス排出削減・吸収量認定依頼書提出(気象変動対策認証センターへ)</p> <p>平成25年5月14日 第48回J-VER制度認証委員会で認証が決定。</p> <p>平成25年6月21日 一関市市有林J-VERクレジットの口座開設。</p> <p>◆ 販売単価</p> <p>オフセット・クレジットの平均単価は、市場動向から見て、二酸化炭素吸収量1トンあたり平均約12,500円ですので、886トン企業への販売価格に換算すると約1千百万円程度と見込まれます。</p> <p>※現時点で次の引き合いがあります。</p> <p>企業名 三菱UFJリース株式会社</p> <p>販売数量 7t-CO2 単価 12,500円t-CO2 (消費税を除く。)</p> <p>販売代金 87,500円 消費税額 4,375円 総額 91,875円</p> <p>◆クレジットの購入方法</p> <p>一関市ホームページ等で、購入者を募集します。</p> <p>申込書を提出していただき、代金納入後、オフセット・クレジット登録簿上で移転します。</p>	<p>◆ 民有林への波及性</p> <p>市有林のJ-VER制度への取り組みを通じて、森林経営者の皆さんが、森林の新たな価値を創出するこのような取り組みに参加し、森林づくりに励むきっかけなることを期待します。</p> <p>◆ 今後のプロジェクトの方向については、県内で販売されている状況をみますと、販売量の10%程度の販売実績なので、販売動向を見ながら展開して参りたいと考えております。</p>	農林部
88	5. 水と緑を守り育み自然と共生するまちづくり	公園・都市緑化	磐井川かわづくり整備事業(磐井川緑地改修事業)	磐井川堤防改修に伴い、河川緑地帯などの整備を実施する。	市	6,000	2,797	<p>【H24年度実績】</p> <p>磐井川堤防改修に伴う桜並木再生事業として、桜の樹勢回復業務及び伐採木を利用した植樹祭の記念品作成を行った。</p> <p>(1) 磐井川堤防樹勢回復業務委託料 1件 494千円</p> <p>(2) 磐井川堤防桜記念品作成業務等委託料 5件 2,303千円</p>	なし	建設部
89	5. 水と緑を守り育み自然と共生するまちづくり	公園・都市緑化	釣山公園拡張整備事業	植生、休憩施設、各種案内板の整備や、来園者用の駐車場の整備により、公園の魅力強く発信する。	市	267,000	220,067	<p>【H24年度実績】</p> <p>盛岡地方裁判所一関支部の一部土地を取得し、隣接する釣山公園の拡張として、公園と駐車場の整備を行った。</p> <p>(1) 釣山公園駐車場修正設計業務等委託料 2件 777千円</p> <p>(2) 釣山公園拡張整備工事 1件 19,740千円</p> <p>(3) 釣山公園駐車場トイレ建設工事 5件 19,550千円</p> <p>(4) 用地購入費 1件 6,472.65㎡ 180,000千円</p>	なし	建設部
90	5. 水と緑を守り育み自然と共生するまちづくり	低炭素社会	地球温暖化対策推進事業(広報・啓発事業)	一関地球温暖化対策地域協議会が発行する温暖化対策に係る広報啓発事業等への補助及び温暖化対策事業を行う。	市	1,199	1,218	<p>【H24年度実績】</p> <p>事業主体:一関地球温暖化対策地域協議会</p> <p>○広報発行事業補助(年2回発行)</p> <p>○環境セミナー</p> <p>○再生可能エネルギー施設見学会</p> <p>○太陽光発電導入者「生の声を聞く会」</p>	一関地球温暖化対策地域協議会の財政基盤が確立していないため(会費で運営)、事業費の確保が困難な状況であり、引き続き支援が必要。	市民環境部

平成24年度総合計画実施計画事業(先導的事業)実施状況一覧表

No.	まちづくりの目標	分野	事業名	事業の概要	事業主体	当初予算額(千円)	決算額(千円)	H24年度実績及び参考事項	事業実施における問題・課題及び対応状況	担当部
91	5. 水と緑を守り育み自然と共生するまちづくり	低炭素社会	新エネルギー等導入事業費補助事業	地球温暖化対策のため、環境負荷の少ない新エネルギー及び省エネルギー設備の導入について補助する。	市	10,300	17,242	1. 太陽光発電システム補助金額…H22:10千円/kW、H23~:20千円/kW 補助条件…国の補助金交付を受けること、市内業者と契約等を行って設置すること。 【H24年度実績】 交付件数…118件・交付金額…11,362千円・設置出力合計…570.15kW(平均出力:4.83kW)平均単価1kW当:479,867円(H25.6.20現在 31件 平均出力4.82kW、平均単価1kW当:432,514円) (H23年度実績) 交付件数…47件 ・交付金額…3,554千円 ・設置出力合計…220.60kW(平均出力:4.69kW)平均単価1kW当:527,857円 (H22年度実績) 交付件数…29件 ・交付金額…1,288千円 ・設置出力合計…129.86kW(平均出力:4.48kW) 平均単価1kW当:556,467円 ※交付件数のうち、国のH23年度分68件、H24年度分50件 2. 住宅用高効率給湯器等補助金 【H24年度実績】 交付件数…145件・交付金額…交付金額5,880千円(エコキュート83件:4,133千円、エコフィール49件:1,430千円、エコジョーズ13件:317千円)	1. 家庭用太陽光発電システムの導入は固定価格買取制度の実施などで増加しており、H24年度の一関市内からの国への補助申請件数は320件となっている。(H23年度:201件) 今後、200件を超える市への補助申請も想定され、現在の補助単価1kW当たり2万円とすると、相当の財政負担となる。 2. 高効率給湯器の補助金申請はH25年度は9月6日現在で135件となっており、高効率給湯器については市民に十分認知され、更新時に導入するのが一般的になってきており、今後補助金を継続することは、相当の財政負担となる。 価格も低下してきており、補助金による導入推進の目的は果たしたと思われる。	市民環境部
92	5. 水と緑を守り育み自然と共生するまちづくり	住環境・市営住宅・景観	景観形成事業	一関市景観計画及び本寺地区景観計画に基づき、景観計画を生かした魅力ある地域づくりを進める。	市等	4,301	3,282	【H24年度実績】 1. 本寺地区景観計画による届出行為等に関する条例に係る届出行為の受理を行った。 (1)届出件数 2件 (2)通知件数 3件 2. 一関市景観まちづくり条例による届出行為等の受理を行った。 (1)届出件数 64件 (2)通知件数 24件 3. 本寺地区景観審議会の開催 2回 4. 一関市景観審議会の開催 1回 5. 本寺地区景観形成事業補助金 伝統的農家建築物の修理または修景に要する費用の一部を補助した。 1件 777千円	なし	建設部
93	5. 水と緑を守り育み自然と共生するまちづくり	住環境・市営住宅・景観	景観まちづくり事業	景観まちづくりに資する住民主体組織の景観形成活動に対して事業費の一部を補助する。	景観まちづくり団体	3,000	537	【H24年度実績】 一関市景観まちづくり事業補助金 景観まちづくりに寄与する活動に要する費用の一部を補助した。 2件 537千円	なし	建設部
94	5. 水と緑を守り育み自然と共生するまちづくり	住環境・市営住宅・景観	緊急経済対策住宅リフォーム助成事業	建築後10年を経過した施設を対象とし、市内施工業者を利用したリフォーム工事を行う場合に経費の一部を補助する。	所有者	17,100	15,058	【H24年度実績】 交付件数177件(リフォームのみ169件、耐震改修併用8件) 助成額15,058千円 (H22年度実績) 交付件数127件(リフォームのみ118件、耐震改修併用9件) 助成額11,537千円 (H23年度実績) 交付件数448件(リフォームのみ422件、耐震改修併用26件) 助成額40,417千円	○事務の迅速化や受付体制の確立をさらに図る。 ○制度周知を引き続き行う。 ○緊急経済対策事業としての一定の成果が図られた。	建設部
95	5. 水と緑を守り育み自然と共生するまちづくり	上水道	蔽美・萩荘簡易水道事業	簡易水道を新設し、水道未普及地域の解消を図る。	市	140,100	132,314	【H24年度実績】 H6年度から水道未普及地域解消事業に着手し、H24年度は配水管布設等を行った。 1. 設計委託料 2件 5,406千円 2. 配水管布設等工事費 7件 126,279千円 (1)配水管布設 φ50~75 L=4,012m (2)消火栓設置 20基	H26年度に配水管の管網形成及び上水道との節水を図り、事業完了の予定。	上下水道部

平成24年度総合計画実施計画事業(先導的事業)実施状況一覧表

No.	まちづくりの目標	分野	事業名	事業の概要	事業主体	当初予算額(千円)	決算額(千円)	H24年度実績及び参考事項	事業実施における問題・課題及び対応状況	担当部
96	5. 水と緑を守り育み自然と共生するまちづくり	上水道	真滝・弥栄簡易水道事業	簡易水道を新設し、水道未普及地域の解消を図る。	市	700,076	469,142	【H24年度実績】 H9年度から水道未普及地域解消事業に着手し、H24年度は小間木浄水場建設、配水管布設等を行った。 1. 工事監理委託料 1件 2,310千円 2. 小間木浄水場建設等工事費 8件 466,089千円 (1) 小間木浄水場建設 1式 (2) 配水管布設 φ75~250 L=5,256m 3. 小間木浄水場補償 18千円 (1) 物件移転補償費 1件	なし	上下水道部
97	5. 水と緑を守り育み自然と共生するまちづくり	上水道	舞川簡易水道事業	簡易水道を新設し、水道未普及地域の解消を図る。	市	577,011	576,444	【H24年度実績】 H16年度から水道未普及地域解消事業に着手し、H24年度は峠配水池及び原沢配水池建設、配水管布設等を行った。 1. 設計等委託料 2件 4,118千円 2. 峠配水池建設等工事費 11件 509,034千円 (1) 峠配水池建設 1式 (2) 原沢配水池建設 1式 (3) 送水管布設 φ75 L=4,728m (4) 配水管布設 φ50~75 L=13,631m 3. 峠配水池等用地補償 1,292千円 (1) 用地購入費 3件 A=3,092㎡ (2) 物件移転等補償費 5件  (繰越明許費分) (1) 配水管布設工事費 2件 60,298千円 ① 配水管布設 φ50~75 L=2,789m	舞川簡易水道地域に隣接した東山町長平地区において東日本大震災以降の井戸枯渇による給水要望が出されている。 H26年度に事業再評価を実施することから、併せて事業変更認可を行い、給水区域を拡張し、H28年度までに配水管整備をする。	上下水道部
98	5. 水と緑を守り育み自然と共生するまちづくり	上水道	大原簡易水道事業	簡易水道を新設し、水道未普及地域の解消を図る。	市	10,000	9,943	【H24年度実績】 H18年度から生活基盤近代化事業に着手し、H24年度は送水ポンプ更新等を行った。 1. 設計等委託料 3件 1,193千円 2. 送水ポンプ更新等工事費 3件 8,750千円 (1) 送水ポンプ更新 2基	隣接した横道、暮坪地区から給水要望がある。 H25年度に大原簡水の変更認可を取得し、区域を拡張し、H26~28年度に国庫補助を活用し事業を実施する。	上下水道部
99	5. 水と緑を守り育み自然と共生するまちづくり	上水道	摺沢簡易水道事業	簡易水道を新設し、水道未普及地域の解消を図る。	市	30,000	31,611	【H24年度実績】 H21年度から生活基盤近代化事業に着手し、H24年度は送水管布設等を行った。 1. 設計委託料 1件 2,415千円 2. 送水管布設等工事費 3件 29,196千円 (1) 送水管布設 φ200 L=581m (2) 導水管布設 φ150 L=247m	H25年度に摺沢浄水場を新設し、膜ろ過による浄水を行うこととしているが、今後洪水浄水場もクリプト対策を要する。 大原簡水の勝膳水源を含めた浄水場をH27年度に整備予定。	上下水道部
100	5. 水と緑を守り育み自然と共生するまちづくり	上水道	興田・猿沢簡易水道事業	簡易水道を新設し、水道未普及地域の解消を図る。	市	309,892	308,020	【H24年度実績】 H20年度から統合簡易水道事業に着手し、H24年度は中川浄水場増設等を行った。 1. 設計委託料 1件 5,561千円 2. 中川浄水場増設等工事費 7件 302,035千円 (1) 中川浄水場増設 1式 (2) 配水管布設 φ75~100 L=1,567m	中川水源のヒ素検出に伴い、H24年度に浄水施設の増設を行い、良好な水質を確保している。また給水工事の共同施工を図るため、水道組合の設立を順次行っている。	上下水道部
101	5. 水と緑を守り育み自然と共生するまちづくり	上水道	磐清水・奥玉・小梨簡水道事業	簡易水道を新設し、水道未普及地域の解消を図る。	市	99,921	101,081	【H24年度実績】 H8年度から水道未普及地域解消事業に着手し、H24年度は配水管布設等を行った。 1. 設計委託料 5件 8,358千円 2. 配水管布設等工事費 6件 90,897千円 (1) 配水管布設 φ50~150 L=5,247m (2) 消火栓設置 4基 (3) 吉立加圧ポンプ場外構 1式	給水工事の接続率が低い。(48.3%) 配水管の整備地区については、水道利用組合の設立を支持しながら地域一体となった工事を推進している。	上下水道部

平成24年度総合計画実施計画事業(先導的事業)実施状況一覧表

No.	まちづくりの目標	分野	事業名	事業の概要	事業主体	当初予算額(千円)	決算額(千円)	H24年度実績及び参考事項	事業実施における問題・課題及び対応状況	担当部
102	5. 水と緑を守り育み自然と共生するまちづくり	上水道	田河津簡易水道事業	簡易水道を新設し、水道未普及地域の解消を図る。	市	100,000	88,070	【H24年度実績】 H20年度から生活基盤近代化事業及び水道未普及地域解消事業に着手し、H24年度は比良根配水池建設、配水管布設等を行った。 1. 設計委託料 3件 1,494千円 2. 配水池建設等工事費 7件 86,576千円 (1) 比良根配水池建設 1式 (2) 配水管布設 φ50~75 L=537m (3) 送水管布設替 φ40 L=563m (4) 消火栓設置 3基	H25年度に竹沢地区水道組合が給水工事を共同で施工。(42戸) 国庫補助事業はH25年度で終了。	上下水道部
103	5. 水と緑を守り育み自然と共生するまちづくり	上水道	折壁簡易水道事業	簡易水道を新設し、水道未普及地域の解消を図る。	市	5,600	5,562	【H24年度実績】 老朽管更新のため配水管布設替等を行った。 1. 配水管布設工事費 1件 5,562千円 (1) 配水管布設 φ75~150 L=281m	室根バイパス沿線に計画されている産直施設に対する給水が必要となっている。 H26年度に配水管整備予定。	上下水道部
104	5. 水と緑を守り育み自然と共生するまちづくり	上水道	川崎簡易水道事業	簡易水道を新設し、水道未普及地域の解消を図る。	市	23,000	21,336	【H24年度実績】 H19年度から生活基盤近代化事業に着手し、H24年度は配水管布設等を行った。 1. 設計委託料 1件 1,470千円 2. 配水管布設等工事費 7件 19,866千円 (1) 配水管布設 φ50~100 L=269m (2) ポンプ・機械設備 5か所	クリプト対策として川崎浄水場を新たに築造し、膜ろ過浄水を実施する予定であるが、耐震基準の改正により既に実施した設計の見直しが必要。 H25年度に構造再検証を行い、H26~27に浄水場を建設予定(用地取得済)。	上下水道部
105	5. 水と緑を守り育み自然と共生するまちづくり	下水道	磐井川流域関連公共下水道(流域建設事業)	○全体計画 計画区域面積 2108ha (内一関 1,783ha) 計画処理人口 50,200人 (内一関 46,000人)	市	57,395	37,602	【H24年度実績】 1. 業務委託 18,595千円 磐井川流域関連一関公共下水道才天地区他数量計算 業務委託ほか6件 2. 工事費 861,534千円 磐井川流域関連一関公共下水道才天地区枝線工事 822,817千円 ほか24件 L=8,042.3m 公共ます設置工事等34件 3. 補償費 9,192千円 磐井川流域関連一関公共下水道山目町二丁目地区枝線 工事に伴う配水管移設補償ほか6件 (繰越明許費) 磐井川流域関連一関公共下水道脇田郷地区枝線工事ほか1件 38,717千円	なし	上下水道部
106	5. 水と緑を守り育み自然と共生するまちづくり	下水道	磐井川流域関連一関公共下水道事業	○全体計画 面積1,783ha 処理人口46,000人	市	997,605	932,251	【H24年度実績】 1. 業務委託 13,114千円 一関市特定環境保全公共下水道事業(花泉処理区) 清水地区設計業務委託 2. 工事費 152,812千円 一関市特定環境保全公共下水道事業(花泉処理区)内ノ目 112,217千円 地区他枝線その2工事ほか3件 L=3,103.2m 花泉浄化センター返送汚泥ポンプインバータ更新工事 公共ます設置工事5件 (繰越明許費) 一関市特定環境保全公共下水道事業(花泉処理区)南町・南金里地区 枝線工事ほか1件 40,595千円	花泉処理区の整備は、H26年度で概ね終了する見込である。	上下水道部
107	5. 水と緑を守り育み自然と共生するまちづくり	下水道	特定環境保全公共下水道事業(花泉処理区)	○全体計画 面積155ha 処理人口4,600人	市	146,000	182,422	【H24年度実績】 1. 業務委託 13,114千円 一関市特定環境保全公共下水道事業(花泉処理区) 清水地区設計業務委託 2. 工事費 152,812千円 一関市特定環境保全公共下水道事業(花泉処理区)内ノ目 112,217千円 地区他枝線その2工事ほか3件 L=3,103.2m 花泉浄化センター返送汚泥ポンプインバータ更新工事 公共ます設置工事5件 (繰越明許費) 一関市特定環境保全公共下水道事業(花泉処理区)南町・南金里地区 枝線工事ほか1件 40,595千円	花泉処理区の整備は、H26年度で概ね終了する見込である。	上下水道部

平成24年度総合計画実施計画事業(先導的事業)実施状況一覧表

No.	まちづくりの目標	分野	事業名	事業の概要	事業主体	当初予算額(千円)	決算額(千円)	H24年度実績及び参考事項	事業実施における問題・課題及び対応状況	担当部
108	5. 水と緑を守り育み自然と共生するまちづくり	下水道	公共下水道事業(千厩処理区)	○全体計画 面積241ha 処理人口5,200人	市	193,000	192,528	【H24年度実績】 1. 業務委託 11,708千円 一関市公共下水道(千厩処理区)効率的事業実施計画策定業務委託ほか4件 2. 工事費 152,967千円 一関市公共下水道(千厩処理区)北方地区枝線その2工事ほか2件 L=2,105.4m 公共ます設置工事 9件 3. 補償費 一関市公共下水道(千厩処理区)北方地区枝線その2工事に伴う 上水道本管及び給水管移設工事 9,864千円	なし	上下水道部
109	5. 水と緑を守り育み自然と共生するまちづくり	下水道	特定環境保全公共下水道事業(川崎処理区)	○全体計画 面積55ha 処理人口1,130人	市	3,000	2,102	【H24年度実績】 1. 業務委託 714千円 一関市特定環境保全公共下水道(川崎処理区)事業計画変更認可申請書作成業務委託 2. 工事費 1,388千円 公共ます設置工事4件	なし	上下水道部
110	5. 水と緑を守り育み自然と共生するまちづくり	下水道	浄化槽設置整備事業(市設置型)	市が設置主体となり住宅に浄化槽を設置する。	市	87,543	64,205	【H24年度実績】 快適な生活環境の整備と河川の水質保全を図るため、下水道事業・農業集落排水事業の計画区域外の地域を対象に52基(大東31基、東山9基、川崎12基)を整備した。 (5人槽 8基、7人槽 40基、10人槽 4基)  H24年度末の設置基数は寄附採納基数を含め1,111基 (大東636基、東山269基、川崎206基)	各年度整備予定基数70基を見込んでいるが、H22年度の70基を最後に、整備予定基数を下回る傾向が続いている。	上下水道部
111	5. 水と緑を守り育み自然と共生するまちづくり	下水道	浄化槽設置整備事業(個人設置型)	個人が設置する浄化槽の設置費用の一部を助成する。	設置者	153,584	170,345	【H24年度実績】 生活排水による水質汚濁を防止し、快適で豊かな生活環境の実現を図るため、一関142基、花泉41基、千厩46基、室根22基、藤沢20基 計271基に対し補助金を交付し、浄化槽の普及促進に努めた。  浄化槽設置整備事業補助金 271基 170,345千円 (5人槽 84基、7人槽 178基、10人槽 9基)  H24年度末の総設置基数 4,672基	なし	上下水道部